

第61期第3回中央執行委員会議事録

1. 日時 令和2年11月27日(金) 9時00分から17時00分
2. 場所 9時～12時 税関労組書記局(財務省内)  
13時～16時 「会議するなら」
3. 出席者 奥平中央執行委員長、浅野副中央執行委員長、原川副中央執行委員長、倉本副中央執行委員長、鈴木書記長、山口書記次長、武田中央執行委員(13時から)、三浦中央執行委員(13時から)、太田中央執行委員、久保中央執行委員(13時から)、小村中央執行委員(13時から)、秋山中央執行委員(13時から)、佐藤横浜執行委員長(13時から代理参加)、福本中央執行委員(13時から)

4. 議題 (1) 各地区本部情勢報告  
(2) 関税局長交渉について  
(3) 税関考査管理室長交渉の実施について  
(4) 決議事項  
(5) その他

5. 議事内容

○中央執行委員長挨拶

第1回中執後の中央情勢について、定員獲得に関する議員要請については、概ね例年どおり国会対策を実施している。

給与法、本日(11/27)参議院の本会議で可決。一時金については-0.05月、月例給については据置きとなったが、労組としては残念というところで理解願いたい。

厳しい状況であることを考えると遺憾という言葉は使えない。(公務労協、国公連合も同じ)

定年延長については、年明けの通常国会にて審議される予定。

附帯決議獲得行動は例年どおり実施。

(1) 各地区本部情勢報告(旗開き等の開催について)

- ・函館 税関長交渉 12月4or7日予定

旗開きは開催を見送り。

コロナ渦における第3波を踏まえ ・函館地本として各会議への参加は基本的に困難とし

- ・本人の希望
- ・本人の希望+家族の同意
- ・コロナ対策を万全

- ・東京 税関長交渉 12月11日（金）  
日時：1月上旬の開催予定、全組合員を対象とした抽選会を実施
- ・横浜 税関長交渉 12月11日（金）  
人間ドック&インフルエンザの補助実施。  
連合神奈川から、横浜みなとみらいでの「木下大サーカス」のチケット斡旋。  
旗開きは開催を見送り。
- ・名古屋 税関長交渉 12月9日（水）  
旗開きは開催見送り、全組合員を対象とした抽選会を実施。  
森永等の斡旋物資を検討中
- ・神戸 税関長交渉 12月10日（木）  
書記長会議にて、新人加入について言及したとおり、ランチ会をメインに実施中。  
12月1日に各空港（広島・岡山）から旅具職員が4名程度を残し、人事異動。  
日時：1月13日（水）、場所：東急三宮ホテル or 本関 18:30～、中央来賓：有
- ・長崎 インフルエンザの補助（組合員とその家族）実施。 青年を中心にX‘サンタを実施。  
税関長交渉 12月10日（木） 実施  
日時：1月13日（水） 時間未定  
場所：水辺の森のワイナリーレストラン、中央来賓：有

## （2）関税局長交渉について

### ○各担当及び進行要領確認

- ・関税局長交渉議題（交渉団資料）に沿って説明・確認した。

### ○総括

- ・宿舍関係の貸与基準の緩和等の周知をすると回答を得た。
- ・関税局長の発言において現職死亡者について触れていた。

## （3）内閣人事局、人事院交渉の総括承認事項について

### ・人事院

特になし

### ・内閣人事局

コロナ渦における人員要求について、極端なマイナスとなるようなことはあるか？  
という投げかけについては、そういった事は無い旨の説明があった。

#### (4) 神奈川県議会及び横浜市区会への要請書提出について

資料を基に、委員長より説明

予てより、附帯決議獲得行動に協力いただいている、田中和徳議員より、主要港・空港等を所有する県や市、即ち、地方自治体から国を動かすことが重要であり、県議会、市議会に対し、税関の重要性を訴え、定員確保の意見書を提出させるべきとの水向けと協力があつた。今まで中央書記局としては、国会対策のみとなっていたところ、田中議員の働きかけもあり、別紙のような神奈川県・横浜市に対し、例年の要請書に内容を基本とした県議会及び市区会による地方自治法 99 条に基づく国に対する意見書の提出といった経緯となっている。

今後、全国的にどのような余波が出てくるかは不明だが、全て中央書記局にて対応するので、何かこういった話があれば全て中央書記局まで連絡していただきたい。理想は、主要空港や港湾地域を要する地方自治体も、神奈川県を見習って、意見書の提出が出来るようになることである。

原川・倉本両副執行委員長より

今回の活動について、一部、事務方（考査管理室・人事院・内閣人事局）への根回しが不十分の場合、反感を買う恐れがあるので、十二分な根回しなどをお願いしたい。また、いつまでこの地方からの活動を行うと考えているのか。

←（奥平中央執行委員長の回答）

そもそも附帯決議獲得行動も査定当局からすれば同様の行動である。仮に反感を持たれても組合員のための行動であるという毅然とした態度で行い、結果、人員の査定において減らされるかもしれないという懸念があつたとしても、それは感情的な捉え方であり、今までどおり組合員の要求を満たすための行動を行っていく。また、今後については、現場の声として来たものを叶える為には出来る事はありとあらゆることをすべきであり、今後も随時検討して実施していくべきだと思われる。

#### (5) 専門委員会の進捗・方向性、結果報告について

○各専門委員会から

・書記長会議における調査依頼について

イ 級号俸調査についての報告及び確認

函館 毎年 7 月実施済

東京 現状、WEB による回答（約 80 人程度）、  
一部調査について「やる意味があるのか？」といったネガティブな意見

横浜 級調査は例年実施済

名古屋 これから、級のみ調査にとりかかる。

神戸 級調査は例年実施済。

長崎 級調査は例年実施済。

ロ 組織拡大に向けた取組みについての報告及び確認

・海事職専門委員会：◎三浦、倉本、武田、浦中、福本

日時： 令和 3 年 1 月 23 日（土）終日

WEB 開催（各書記局）

※担当中執については中央書記局に集合し、中央書記局にて参加

議題： ・各関配備の監視艇にかかる現状と諸問題

・要求書について

・海事職専門委員会及び海事職担当中執の在り方、選出について

・行政事業レビューについて

・行（二）等専門委員会：◎秋山、浅野、倉本、久保、新里

日時： 令和3年1月～2月の土曜を視野にいた半日開催 WEB開催（各書記局）

議題： ・コロナ渦における情勢について

・要求書について

・行（二）等専門委員会及び海事職担当中執の在り方、選出について

・男女協働委員会：◎浅野、倉本、小村、太田、齋藤、脇中

日時： 令和3年1月～2月の土曜を視野にいた半日程度開催 WEB開催（各書記局）

議題： 昨年の要求書をベースに

・コロナ渦に関する文言を入れるか

・コロナ渦に付随して、子の看護休暇（5日）の拡充について

・女性の当直について

・その他（線引きは専門委員会で確実に）

※あくまでも現場組合員の意見を基とした要求書となるように願う。

・組合費検討委員会：◎原川、浅野、倉本、佐藤、長谷川

日時： 令和3年1月～ WEB開催（各書記局）

議題： ・育児時間勤務者の減免等

・組合員が結婚した場合の組合費の徴収方法

・各地区本部における役員手当について

※明文化されていなかったが、全国一律で役員手当は1時間500円、一日上限2千円、一か月上限1万5千円としている。これ以上もらう場合は確定申告をしなければならぬためである。

・旅費のモデルケースの在り方について

※財政圧迫の観点から、以前に話しが出たモデルケースの廃止による実費支給の検討をしていきたい。

※場合によっては、免除されている組合員の数などの調査も必要

・青年委員会：◎山口、原川

考査管理室長交渉 12年18日 開催予定

研修所長交渉 来年1月実施予定

※青年委員会後を含めたフォローアップをお願いしたい。以上

(6) 中央総決起集会の延期について

日時：令和3年4月16日（金） 18:00～

場所：田町交通会館

※例年、全国柔剣道大会及びJCUセミナーと重なる時期なので、事前に要確認。

(7) 今期の中央委員会について

※コロナ渦における社会情勢を踏まえて、実施を見送る。

本来であれば、実施すべき会であること。

以上2点を踏まえての意見。

浅野) 現状（コロナ渦）で見えてきた事であるが、開催にこだわる必要はなく、前期・

前々期のような副中央執行委員長の持ち回りによる説明でも事足りるのでは？

中央) とは言え、一部を簡略化したことによる、組織率の低下もあるもの事実である。

情勢ではあるが、今一度、組合の在り方も踏まえ検討願いたい。

原川) 例えば、現状中央において、委員会にかけるとなような検討事項はあるのか？

中央) 現状は無い

原川) で、あれば、総決起集会に代わるものとして開催してはどうか？

中央) 年明けの状況を踏まえて、検討したい。

(8) 推薦議員について

○事前検討内容（奥平委員長より各地区本部・中執へ11/12にメールにて周知）

【要旨】

昨日、当労組の推薦議員であり、かつ、公明党幹事長に就任した石井啓一衆議院議員の政策秘書である「杉戸研介さん」、遠山清彦元財務副大臣の政策秘書である「浜畑武史さん」が、当労組事務所に来て、別添を依頼されました。

【経緯及びその他の情報】

- ・過去に推薦議員としてお願いをしてくる議員はあった。
- ・今までまとめて推薦依頼をされた記憶は無いが、想定はしていた。
- ・現在、推薦している公明党の議員は、石井啓一議員、伊藤渉議員、伊佐進一議員の3名である。
- ・今般は、公明党として、別添の候補者及び比例区について依頼してきた。
- ・公明党とは、奥平が専従書記長2期目の時に、公務労協の吉澤事務局長の紹介で、公明党事務局とも良好な関係を構築してきた。
- ・以来、公明党は、一貫して税関行政、関係法令の審議・採決・附帯決議、税関労組の要求事項を尊重し、財務・財政金融委員会の前には、必ず党本部内の財金部会で上述の方向性を決定し、党所属の個々の議員の協力の他、一枚岩で常に協力体制をしてくれている。
- ・過去の中央書記局はアナウンス漏れがあったが、遠山副大臣を始めとして、財金委員会において、公明党議員による税関労組にとって有利な質疑はかなりされてきた。（別添）
- ・国会対策を今まで経験してきた肌感覚及び蓄積した情報としては、自民党やその他の政党とは異なり、党本部の統制がしっかり取れており、かつ、党のしっかりした指示及びアナウンスがあるため、所属議

員個々が、国会における各委員会の懸案事項や関係各所の要望(労組を含む)を良く把握しているため、個々の議員及び議員事務所の対応もしっかりしている。

- ・党本部にも、労組担当窓口は存在し、かつ、良好な関係を構築しているが、推薦議員などに関する事項は、個々の議員事務所が対応するとのことであった。

- ・今般、労組側が与野党問わず他の政党、他の政党に所属する議員、無所属議員、その他候補者を推薦していたり、公明党の推薦議員依頼者と重複しても構わないとのこと。

- ・別添の推薦依頼書の議員及び比例区で推薦いただければ、今後、更に税関労組に対する協力体制を強化して行きたいとのこと。

【当方から】(良好な関係を構築しているのでかなり本音で)

- ・国公法における規制・制約があり、名簿の譲渡、ポスティング、投票の支持、その他同法の禁止行為に抵触する選挙活動などは出来ないこと。

- ・政治資金規正法の範囲内で実施するパーティー、勉強会、国政報告会などの参加は、少しでもあれば協力できるが予算の制約もあり、年々組織率も低下している。

- ・推薦議員として協力するとしても、かなり強力体制に制限があり、組合活動としての機関紙である教宣ニュースでの極めて緩やかな広報、各種会議(大会、委員会など)での口頭での周知、各活動(オルグ、旗開き、レク、勉強会)などでの口頭での周知など、極めて限定的でかつ、なかなか大きな票にならないこと。(あくまでも、理解や協力してくれている先生が〇〇議員です程度の紹介であり、〇〇先生に投票しろとは間違っても書けません。)

- ・基本的に議員の対応は中央本部が行うので、推薦議員として、仮に地方でのパーティーなどがあった場合でも中央本部が対応することが基本である。ごく稀に、中央本部と同行する形、又は中央執行委員長の名代で同パーティー等に地区本部役員を参加させることはある。これらのことから、基本的には、各地区本部にはあまり負担になることは避けたい。

等々を伝えている。

これらに対して、先方からは、

- ・何か大きな票を求めることが困難であることや国公法の制限があることも理解しているが、少ない票でも、組合ならではのアナウンス(限定的な活動)で1票でも投票いただけるチャンスになるため、ご推薦をいただけるなら大変ありがたい。

- ・稀に地方での活動にご招待することもあります。労組の活動(大会、旗開き)に呼んで頂ければ是非お願いしたい。

等々とのことであった。

【第3回中央委員会で】

上述を踏まえ、事前に各地区本部でご検討いただき、第3回中央執行委員会において、議論したいと考えております。議論が決着しないことも想定しておりますので、必ず第3回中央執行委員会で結論を出すものではありません。(過去にも先送り又は数回に渡って決議したケースもあります。)

上述に加えて、当日も推薦議員、議員要請、その他の検討情報はお伝えする予定です。

以上、よろしくお願い致します。

## 【その他】

推薦議員については、第1回中央執行委員会においても議論・検討をしましたので、あえて、「推薦議員とは何？」は記載しませんが、過去の執行体制において、しっかりとした議論が無いまま、税関労組の推薦議員としていた！ということもあったため、前期から必ず中央執行委員会等の場で議論を経て推薦議員とするか否かを判断している。

### 以下議論)

中央) 中央書記局としては推薦議員からの申し出もあり、本音としては中央をメインにパーティー券の購入や、各種委員会における税関業務を後押ししている発言等を教宣紙等のツールを使って協力できるのであれば、同意いただきたいところである。

函館) 前期の中執において「予算の面から推薦議員を減らす」旨の申し出もあったことから今回の9名の推薦にあっては、予算上の心配をしており、判断できない状況である。

中央) 本来の予算については、実施すべき活動に基づいて必要な費用を徴するものであるが、現状の予算のつくりは異なっている。今期の予算執行の状況であれば、常日頃より切り詰めているので予算を逼迫するものではない。

函館) 推薦議員がすでに3名もいることから、推薦状の配布等も懸念する。

中央) そこは、中央書記局が対応する。

東京) 基本的には議員要請については、中央へ一任しているので物言うところでは無い。各種パーティーにも参加させていただいており、好印象であることから、そのような議員が増えることは賛成。

横浜) 東京と同じく、中央へ一任しているが、比例代表における党を推薦することは危険だと懸念している。

中央) 承知した。なお、選挙制度上、投票時には党の名前を記載することとなるが、これはあくまでも選挙制度上のものである。かねてから伝えているとおり、税関労組は特定の政党を支持する活動はしていないことから、議員だけに留めるつもりである。

名古屋) 基本的には組合費の逼迫を考慮し、見送るべきと検討している。また、公明党＝創価学会も懸念している。

中央) 金額的には、現状の予算で問題無いと判断しており、回数も制限している。繰り返しにはなるが、特定の政党を対象としているのではなく、税関を応援している議員に対しての活動となるので、理解願いたい。

神戸) 基本的には、中央一任であり、公明党は母体もしっかりしているので問題無い。

長崎) 執行委員会で議論した結果、中央に一任で良い。

中央) その他の地区本部からも同様（財政上や特定の政党を応援する事への懸念）の意見があったが、書記局として先程と同様の回答をしているところである。特定の政党を応援するものではない。あくまでも中央書記局での対応とすることとし、地区本部の皆さんに迷惑をかけるものではない。財政上の問題から、パーティーチケットの購入も検討するものであり、回数を制限する等の対策を講じる。また、推薦状ではなく「推薦決定通知書」のみとする。

原川) 提出は「推薦決定通知書」だけであり、公表はしないようお願いすることを約束。パーティーチケットは財政状況を踏まえて購入してもらいたい。

中央) 推薦決定通知書については了解した。パーティー等については、そもそも前期から工夫をしてかなり削減してきているので、現状の方針どおり行っていく。

#### (9) その他(秋の定員行動含む)

○定員増員の議員要請行動にあつて、福島先生の実例を提示。

○全体でできるレクについて(フリートーク)

- ・全員でキャンプ
- ・インフルエンザの補助(組合員へ1,000円の補助、家族へ2,000円の補助)
- ・ディズニーランド貸し切り
- ・優待もの(カラオケボックス、紳士服、森永のお菓子)  
⇒人が集まるものは、現状排除して検討した方が良い
- ・PCR検査の補助
- ・丸大ハム以外の他、家飲みセットなど  
※今後もメリットとなるようなレクを検討していく。

○現職死亡について(フリートーク)

- ・組合で専門の窓口を紹介出来るようにしては
- ・カウンセラーを紹介出来るようにしないと
- ・何でも(恋愛やダイエット等)相談窓口を作っては
- ・窓口に相談されないのは信用がないからではないか(外部に漏らさない等)
- ・相談員の選抜に組合員も含めてもらえるように提案しては(食堂の選抜委員のように)
- ・組合で講師を呼び、各分会役員等に受講させる
- ・結局全て当局はやっているのではないか
- ・本人の性格などが原因、問題となっている場合もある  
※引き続き検討していく。

○組織拡大について(フリートーク)

- ・函館の今期の大卒新職の加入が0であった。先日、新職が多く配備されている千歳で加入逍遥を実施し、2名加入したが、他の入らなかった人の理由を聞いたところ、組合費と加入するメリットを感じられていない等であった。  
←概ね経済的理由という者が多かった
- ・組合員と非組合員の差がないことが問題では
- ・特殊な職場であり、処遇を良くする、職場が良くなる、待遇が良くならないと
- ・研修所で声をかけるしかないのではないかと(教育官と連携して差し入れをする等)
- ・差別化は脱退する者に考えた方が良くはないかと思われる
- ・教育官が組合員かどうかの確認を速やかにし、スケジュールを把握し、差し入れ等を行えば効



果があると思われる

以上